

知っておきたい家具のディテール

家具の上手な使い方

その
1

上手な手入れの方法

未長く使って、快適な生活を...

木製の家具類

(1) 塗装をしたもので艶のあるもの

- *2~3日に一度は柔らかい布でから拭きしましょう。
- *汚れのひどい時は、石鹸水を少し浸した布、又は市販の家具用クリーナーで汚れをとり、ワックス、シリコンなどでみがきます。ワックス等は市販されています。

(2) 塗装をしたもので艶を消したものの、メラミン化粧板のもの

- *から拭きだけにしてください。
- *汚れのひどい時はその部分だけ、石鹸水を少し浸した布で汚れをとり、そのあと必ず柔らかい布でから拭きします。
- *家具用ワックスやシリコンを使いますと、ムラになりますので絶対にさけてください。
- *デコラなどメラミン化粧板のテープはさっと水拭きして、そのあと水気の残らないように乾いた布でから拭きします。しょう油、油は中性洗剤を浸した布で拭くと落ちますが、そのあと必ずから拭きします。

(3) 白木のもの

- *ホコリを払ってから柔らかい布で拭きましょう。
- *ものによっては白木用ワックス(市販)で拭いておくと、汚れがしみ込みます、いつまでもきれいに使えます。
- *桐タンスのようなものは水分、油分は禁物ですから注意して下さい。
- *日光で変色し易いので注意しましょう。

ソファ、椅子、ベッド類

(1) 布張りのソファ、椅子等

- *汚れは軽く叩くか、ブラシ、歯ブラシ等でこすり、電気掃除機で吸い取ります。
- *飲み物等の汚れは中性洗剤を含ませた布で吸い取り、いずれの場合もそのあとぬるま湯を含ませた布で拭き取って下さい。

(2) 合成皮革張りのソファ、椅子等

- *汚れは市販の専用クリーナーを使って拭き取って下さい。汚れは少ないうちに手当するのがコツです。
- *濡れた布で度々拭くと、細かいひび割れが出来る原因になりますのでさけてください。

(3) 革張りのソファ、椅子等

- *汚れは市販の革専用クリーナーを使って拭き取るのが安全です。
- *シンナー、ベンジンは革をいためますから絶対使わないで下さい。

(4) 籐製の椅子等

- *籐製品は石鹸水で拭くと黄色に変色することがあります。食塩水で拭くと変色しません。

(5) ベッド類

- *マットは同じ状態で長時間使うと、一部分が変色することがありますから、3ヶ月に一度位前後を反転させて使して下さい。
- *時々日に当てて、マットを乾燥させて下さい。この場合フォームラバーのマットは日光により変色することがありますので、必ず日陰干しして下さい。

じゅうたん、カーペット、敷物等

- *新しいうち5~6ヶ月は掃除の時、遊び毛が出るのが普通です。これが出終わるとつやが出てきれいになります。電気掃除機は毛並にそってかけましょう。
- *月一度はぬるま湯に市販の洗剤を入れ、タオルをよくしぼって表面を拭いて下さい。好天の日を選んで拭きましょう。

たたみ

(1) 畳を末長くお使い頂くために

- 1か月に1回程度、天気の良い日に畳干しをお勧めします。(畳表は直射日光に当てると変色しますので陰干しにしてください。)

(2) 日常のお手入れ方法

昼間などベッドを使用しない時は、布団を交互(上半分・下半分といった具合)に折り畳んで通風してください。

- 1) 固く絞った雑巾か乾いた雑巾で乾拭きします。
- 2) 天気の良い日は、窓を開けて風通しを行います。
- 3) 湿度の多い時期は、除湿機の使用をお勧めします。
- 4) 冬期の加湿器での加湿のしすぎに注意しましょう。
- 5) 日干しで乾燥させることが湿気をとる最も良い方法ですが、無理な場合、畳を少し持ち上げ床と畳の間に空き缶などを挟み込んで裏面に風を流し込む方法もあります。

(3) カビ・ダニが発生した場合には

漂白剤や消毒用アルコールを染み込ませた布で拭き取り、少量ならブラシで(大量なときは掃除機で)取り除いて、お湯で固く絞った雑巾で拭き、乾拭きして風通しを良くし、乾燥させて下さい。

その
2

簡単な補修の方法

もしもの場合、知って得することがたくさんあります。

(1) 塗面にすりきずができたとき

- *小さな傷で、塗面の色が濃色の場合は、同色系のマジックペンで着色すると目立たなくなります。
- *布にラッカーシンナーをしみこませ、きずの部分を軽く拭くと目立たなくなります。
- *白くなっている時は、目の細かいサンドペーパーをかけて、市販のスプレー式クリアラッカーをうすく2、3回吹付けます。吹付け量が多すぎると、かえって目立たなくなりますから注意して下さい。

(2) 桐タンスがへこんだとき

- *へこんだ部分に、水をゆるめにしぼった布をあて、その上から中温のアイロンをあてると、元にもどります。

(3) 引き出しがかたいとき

- *引き出しが湿気ている時は、乾燥させ、かたい所はロウか固形石鹸をぬります。
- *それでもかたい時は、こすれている面をサンドペーパーでこすります。刃物で削るのは失敗の原因となります。

(4) 引違戸がかたいとき

- *家具の上に重いものを置くと固くなる原因になります。
- *大半は上部の溝に原因があります。正しくはまっているか確認してこすれている箇所があればサンドペーパーでこすります。

(5) 洋服ダンスの引き戸がしまらないとき

- *ハンガー、ネクタイ、衣類等がはさまっていないか確認しましょう。
- *原因の多くは設置場所が水平でない場合です。水平を保つ様にタンスの下に板切りや厚紙をはさんで下さい。

(6) テーブル、鏡台に白い輪じみが出来たとき

- *少量のアルコール、又はラッカーシンナーを布にしみこませ、軽く拭くと目立たなくなります。
- *消えない時は、細かいサンドペーパーで表面の塗膜を軽くこすり、市販のスプレー式クリアラッカーを吹付けます。

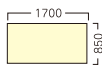
(7) テーブルがぐらつくとき

- *原因の多くは脚の接合部分のナットのゆるみです。4箇所を交互に徐々にかたく締めしていくのがコツです。
- *接着がぐらついている時は一旦はずし、穴の中をきれいにして木工用ボンドを多めにつけ、再び組立て一日放置して下さい。

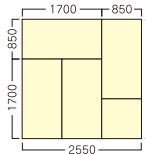
お部屋(タタミ)のサイズ

日本の家屋の室には団地間・江戸間・京間・本間があります。お部屋の畳のサイズに合わせて家具をお買い求め下さい。

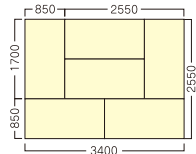
■ 団地間



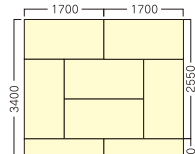
4.5畳(6.50m²)



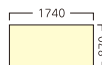
6畳(8.67m²)



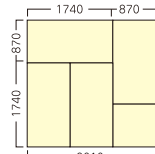
8畳(11.56m²)



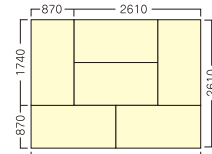
■ 江戸間



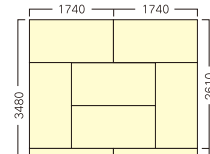
4.5畳(6.81m²)



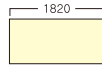
6畳(9.08m²)



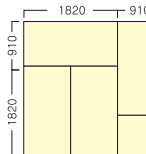
8畳(12.11m²)



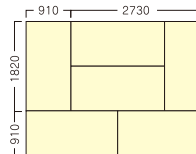
■ 京間



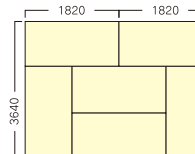
4.5畳(7.45m²)



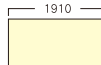
6畳(9.94m²)



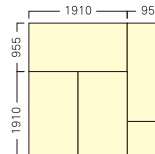
8畳(13.25m²)



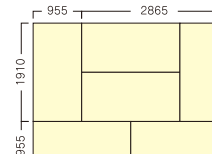
■ 本間



4.5畳(8.20m²)



6畳(10.94m²)



8畳(14.59m²)

